2011年2月号
News
No.84

特定非営利活動法人
都市生活コミュニティセンター
〒663-8231 西宮市津門西口町7-3
tel 0798-36-6679 fax 0798-36-5114

介護保険セミナーを開催しました
阪神間・神戸市内にて

この半年あまり、介護保険セミナーを阪神間・神戸市内で数回にわたって開催してきました（注）。

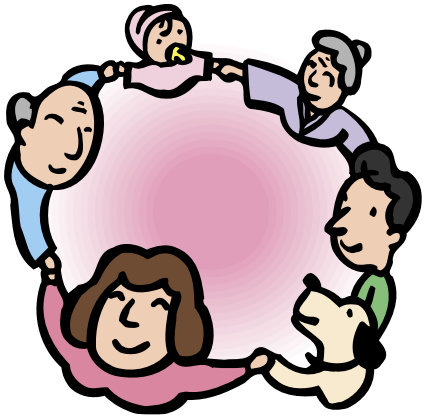
世の中にはいろいろな保険があります。たとえば、自動車保険（任意）や火災保険や生命保険。さらに、労災保険や失業保険など、公的な仕組みもあります。強制加入の医療保険や介護保険もこの公的な保険制度に分類されます。

さて、お金にさえ困っていなければ、「保険に入る」のはそんなに難しいことではありません。ところが、いざ「保険を使う」という場面ではどうでしょう？損害保険などは一般に、かなり面倒な手続きが必要になることが多いようです。たとえば、クルマで事故を起こしてしまったり、家で火事を出してしまったときのことを考えてみてください。被害や損害の査定に時間と手間がかかります。

ところがこれと対照的なのが公的な医療保険（〇〇健康保険など）です。保険証をもって医療機関を受診すれば面倒な手続きは不要です。病気やケガの「査定」は医師が診察室で行ってくれます。あとは治療を受け、窓口で診療費や薬代の自己負担分を支払うだけです。少なくとも「保険を使う」という点に限っていえば、なにも面倒なことはありません。

介護保険は医療保険に比べると、この「導入部」が少し複雑です。サービスを実際に受けるまでには多少の手間と時間がかかります。サービスのメニューもたくさんあって、さらに場合によっては「あれは使えるが、これはダメ」というような複雑なルールもあり、全貌をつかもうとすれば、一般市民にとっては確かになかなか手ごわい相手です。

では、介護保険はどうやったら使えるようになるのか？どこに相談に行ったらいいのか？いざ使う段になったら、どんなサービスが受けられのか？在宅サービスと施設系サービスはどのように違うのか。費用はどのくらいかかるのか？・・・



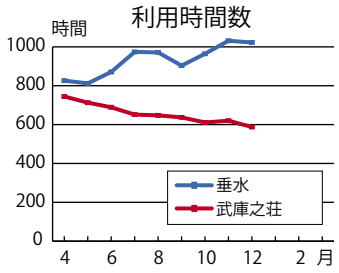
今回のセミナーでは、「介護保険を使う」ためには最低限何をしなければならないのかという点に絞り込んで、できるだけ具体的・実践的に制度の仕組みを解説しようと務めてきました。はたしてそれがうまくいったかどうか、少し不安は残りますが、幸いご好評をいただいております。参加してくれた方々にあらためて感謝いたします。なお、近いうち続編を用意しようと新たな企画を考えているところです。ご期待ください。

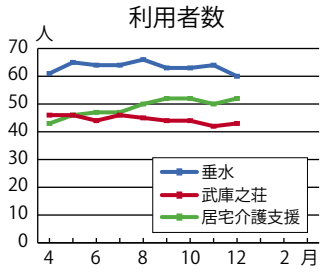
（注）開催場所は、三田市、宝塚市、尼崎市、神戸市垂水区、同西区の各地。期間は2010年6月～2011年1月。各回とも内容はほぼ同じ。

（理事・池田啓一）

2010年度☆介護保険事業報告

●現在、「あ・し・す・と（垂水）」「あしすと武庫之荘（尼崎）」の2つの事業所を拠点に生活クラブ都市生活組合員が中心となってヘルパー派遣事業、障害福祉サービス事業を行っています。●武庫之荘では居宅介護支援事業（ケアプラン）も行っています。





1.17 市民追悼のつどい

ふれあい喫茶「すまいる」

2011 年「1.17 市民追悼のつどい」が 1 月 17 日執り行われました。

早朝追悼のつどいは、天国に一番近いとされる諏訪山ビーナスブリッジにて 5 時 46 分の震災発生時間に合わせ黙祷をし、「神戸・希望の鐘」を参列者 70 名程の方全員に撞いて頂き、それが眼下の神戸の街に鳴り響いていました。

今年は 16 回目で 17 回忌に当たり、やはり遺族の方や被災された方々は特別な想いで参列されていました。今年はとてもとても寒く 16 年前のあの日も寒かった事を皆さん思い起こしていたようです。

その後、10 時 30 分より婦人会館で行われた「市民追悼のつどい」には月曜日という平日にも関わらず 100 人を超える参列者に参集いただき、僧侶 6 人が唱える声明を聞きながら亡くなった 6434 名の方々と関連死された方々のご冥福をお祈りしました。

震災から 16 年が経ち、実行委員長をされているポーアイ第 3 仮設住宅会長だった安田秋成さんも 85 歳となり、安田さんの熱い強い想いで継続してきたこの「市民追悼のつどい」も来年以降継続可能かを関係者でしっかり話し合わなければならないと危機感を募らせています。

また安田さん自身も当事者なのですが、「借り上げ公営住宅」が 2015 年以降、契約期限を迎え最長 20 年間とされている問題が今まさに最大の課題として取りざたされています。震災はまだ終わっていないのです。

すまいるの活動を通して震災被災者の行く末をしっかり見据えていかなければと改めて思いました。

（ふれあい喫茶すまいる・岡部眞紀子）

国際防災シンポに出展

アフガニスタン写真展

1 月 18 日に、神戸のよみうり神戸ホールにて、国際防災シンポジウム 2011「コミュニティ防災の挑戦：気候変動適応への道のり」が開催されました。HAT 神戸に拠点を置く国連地域開発センターなどの主催で毎年行われているものです。

会場の一角で、昨年 11 月に開催したアフガニスタン写真展で作成した写真パネルの展示を行いました。

写真展を共催した CODE 海外災害援助市民センターが、シンポジウムでアフガンの活動報告を行うにあたって、現地の様子を紹介するために、連動して企画したものです。

当日は 140 人の参加があり、現地の人々が復興に取り組む姿を見て頂きました。

◆アフガニスタンの写真パネルは、貸し出しも対応しています（要実費）。詳しくは都市生活コミュニティセンター事務局へお問い合わせ下さい。

あしすと Report

垂水　母の友人の年賀状に「京都に居る息子の所に行く事になりました……」と有り、母はとても寂しいと感じています。その方はずっと一人で神戸で頑張っていらっしゃいましたが、息子さんがお母様を心配し呼び寄せたとの事です。友人の方も息子さんの思いを嬉しく感じつつも神戸を離れる事にとても寂しさを感じているようです。住み慣れた家・地域での生活を継続していく事の難しさを痛感しています。誰しも住み慣れた土地で最後まで生活を送りたいと思っているはずです。核家族になっているからでしょうか ?! 私達在宅のヘルパーだけでは独居の方を見守っていくには出来る範囲が狭すぎると思います。母の友人の年賀状で改めてその事を思い知らされました。（廣瀬久美子）

武庫之荘　『世代ふれあい会』地区で赤ちゃんからお年寄りまで集う催しがあり、いろいろ楽しめるものを考えました。折り紙・風車・竹馬等、前もっての試作 なかなか上手くできない（@_@;）……風車が回った！（*^^）v　成功すれば爽快感いっぱい！(^^)！

竹馬は、いにしえの青年連に出動要請♪ 皆さん快く二つ返事で OK ♪ 誰にお願いしたものかと考えていたのに、あっけに取られるくらいでした。当日の竹馬は子供たちも一生懸命練習し、段々高くしたり、ニコニコ顔で皆乗れるようになりました。いにしえの青年連は、首をかしげていたはずなのにとしきりに ???（@_@;）お疲れの後はみんなで食事（^0_0^）　……の青年連はハイキングの予定など立ててふれあい続行のようです。皆さん楽しまれた後、お菓子・折り紙のお土産を手に家路に、私たちもほのぼのとさせて頂きました。（立川マチ子）

介護無料相談＆ヘルパー募集中（2 級以上）

介護無料相談　月～金・9:30 ～ 17:00

都市生活ヘルパーステーション あしすと武庫之荘

06-6433-8487

介護無料相談　火・13：30 ～ 17：00

都市生活ヘルパーステーション あ・し・す・と（垂水）

078-755-1455